

各支部事務責任者様

令和7年6月20日

三重県剣道連盟
会長 中森博文
(公印省略)

全日本剣道選手権大会予選会の実施について

みだしのことについて、下記のとおり県予選会を実施致しますので各支部会員にご案内ください。

記

1. 日 時 令和7年8月3日(日)(開場8:30)

受 付 8:30~9:00

検 量 8:30~9:00

開始式 9:30

2. 会 場 日硝ハイウエアーアリーナ サブアリーナ
津市北河路町19-1 (059-223-4655)

3. 予選会出場資格

1) 三重県剣道連盟登録会員の男子であること。

2) 年齢満20歳以上とし、段位の制限はなし。

(年齢計算は、本大会前日の令和7年11月2日を基準とし、平成17年11月2日以前に生まれた者。

3) 他都道府県の予選会に出場した者は、出場できません。

4) 令和7年4月30日以前から本大会参加時まで三重県剣道連盟登録会員である事。

4. 剣道用具の取り扱いについて

本大会要綱12を参照し、遵守すること。

大会当日に検量・検査を必ず受けること。

5. 申し込み 申し込みは個人申込にてお願いします。申込書に必要事項をご記入の上
下記のいずれかの方法でお申し込みください。

【申込方法】 郵送: 514-0007 津市大谷町152大谷ハイム1-202
三重県剣道連盟宛

メール: sankenren@soleil.ocn.ne.jp

FAX: 059-229-7407

LINE: 申込用紙の『写メ』を事務局 玉置又は濱崎へ

【締め切り】 令和7年7月22日(火) 必着

【参加料】 参加料500円を当日受付にてお支払いください。

6. その他 ・申込みのキャンセル、当日欠席、交通の遅延による遅刻等の連絡は
必ず入れてください。(連絡先: 濱崎 090-8738-1906)
・予選会終了後、稽古会を行います。

【参考】 *第73回全日本剣道選手権大会

<期 日> 令和7年11月3日(祝・月)

<場 所> 日本武道館

以上

12. 剣道用具の取り扱いについて

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。予選会も同様に扱うこととする。

(1) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「~~剣道用具確認証~~」を提出すること。
(「17. 安全管理」参照)

(2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。(検査本数は、3本までとする。不合格竹刀があった場合に追加の竹刀検査は行わない。)

●竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする。

●ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。

(3) 小手については次の事項を遵守すること。

●小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

●小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

(4) 面については次の事項を遵守すること。

●面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(5) 剣道着については次の事項を遵守すること。

●剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上

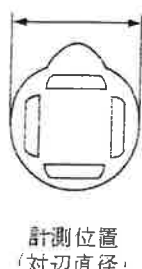
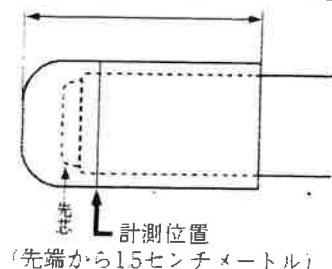
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280～300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>

